

E  
エッセイ  
ssay.

## 設立20周年を迎えて

財団法人豊橋市国際交流協会

会長 大塚 昌代

平成元年（1989年）4月、地域の国際化と国際交流の推進を目指して誕生した豊橋市国際交流協会は、市民の皆様の温かいご支援と力強いご協力をいただきながら、ここに設立20周年を迎えることができました。

これも会員やボランティアの皆様をはじめ、多くの方々の励ましの賜物と厚くお礼申し上げます。

設立当時の本市の外国人登録者数は、世界30か国約3,500人でしたが、平成2年の入国管理法の改正に伴い、日系南米人が年ごとに増加し、現在では67か国およそ18,600人、総人口に占める割合は約5パーセントに達しています。特に、ブラジル、ペルー人は約12,000人で、その人口比率の高さでは、全国でも有数の都市となっております。

この間本市は、国際貿易港を中心とする臨海部への自動車関連などの外資系企業の進出、地域の大学を中心に多彩な学术交流や留学生数の増加、中国南通市、アメリカ・トリード市、韓国晋州市、ブラジル・パラナバイ市との友好交流や平成17年「愛・地球博」でのフレンドシップ事業での新たな交流等、産業・経済、教育、文化など幅広い分野において、様々なかたちで国際交流が広まり、グローバル化が大きく進展しております。

一方、地域経済を下支えする多くの外国人労働者は、単身短期滞在型から家族長期在住型へと様変わりし、それに伴い地域生活住民の一人

として、身近にともに暮らす市民としての多くの課題が発生してきております。豊橋市では、本年「多文化共生推進計画」を策定し、当協会を含め多くの関係機関とともに地域共生事業を推進しており、これまでの国際交流のあり方が変化し、新たな展開をみせております。

ところで、協会の事業活動は、ボランティアの皆様のご協力なくしてはありえません。毎日協会の研修室で開催されている「にほんごきょうしつ」では、日本語を学ぶ外国人市民とボランティア指導者の「教え、教えられる」熱心な姿や毎年恒例の「インターナショナルフェスティバル」は、市内の国際交流市民団体や活動ボランティアの方たちの総意と力が結集された、盛大な地域イベントとして定着しております。また、本市を訪問する外国人へのホームステイを快く引き受けていただくホスト・ボランティアなど、当協会の様々な事業活動を献身的に支え、ご協力いただいておりますことに、改めて心から感謝申し上げます。

更に、平成18年の豊橋市制施行100周年を機として行われた「平和・交流・共生の都市宣言」の具現化のため、国際協力を視野に入れた「市民参加の国際交流」の精神を念頭に、より多くの市民ボランティア、諸団体の皆様のご協力をいただき、外国人市民とともに新たな国際化の推進に努めてまいりたいと思います。

皆様の一層のご支援とお力添えをお願い申し上げます。